

# 令和6年度ケアホームかがやき事業報告

## 理念 ともに支え、ともに生きる

令和7年3月9日付けで男性1名が他の障害者入所施設に入所が決まり現在は男性2名、女性3名で生活している。ホームを生活の場として日中は同一法人の通所事業所を利用し、共同生活の場で多くを学び、支援を受けながらではあるが自身の持てる力で生活をしている。個々支援内容に違いはあるが、個々のニーズに合わせ家庭的で安心感のあるホームでの生活づくりに努めている。

### 1 事業方針

- ・「自分らしく、地域の中で生活する」を目標に利用者が希望と生きがいをもって毎日生活できるように支援に努めた。
- ・利用者の自立を目指し、地域において共同生活を通して、入浴、排せつ、食事等の介護や、相談その他の日常生活上の援助を適切に行った。
- ・利用者の、日中活動サービスを利用している事業所等との連絡調整や、余暇活動の支援等に努めると同時に、家族との連携を図り本人のニーズと目標に沿った援助を行った。

### 2 (1) 援助の内容

- ・てんかん疾患の抱える生活状況の中で一人ひとり違う発作のリスクを考慮して、まずは転倒危害を防ぐ身体保護又、体調管理、服薬チェック等を支援した。
- ・「利用者一人一人の暮らし」を基本に、生活スタイルや支援区分に応じた手厚い援助や、個々の要望に応えることを大切にした。
- ・家庭に近い環境の中で、落ち着いて生活できるよう心配事や悩み、不安に対し親身に受け止め安定を図れるよう支援した。
- ・6月にコロナ感染が複数名発症し約10日間閉鎖対応したが、健康管理を促すためにうがい、手洗い、きめられた薬の服用について自分で自覚してできるよう見守り、確認の支援をした。

### (2) 日中活動の利用

- ・同一法人である生活介護てんまと連携して継続して利用することを基本に規則正しい生活のもと体調管理に気を付けてサービス事業所を休まず利用できるよう支援を実施した。

また、出勤など様々な場面に適応していく為の精神的な支えとなり、不安をはやく解消していけるよう助言、援助し、また必要に応じ、連絡・調整をした。

- ・個別に問題が発生した際には本人、事業所と連携を図り、解決策についての相談・検討を重ね、問題解決に努めた。

### 3 利用実績と利用状況（令和7年3月31日現在）

- (1) 利用者 男性2名、女性3名
- (3) 支援区分 ・区分3（1名） 区分5（1名） ・区分6（3名）
- (4) 実績

利用 実績	令和6年									令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
延数	131	132	103	141	120	124	137	129	113	105	113	112	1460
開所	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
平均	4人												

\* コロナ感染の影響、週末帰省、1名迷走神経電池交換のため入院、1名他施設への入所等があり前年度に比べ延人数は減少した。

### 4 安全・安心の確保

- ・夜間支援員を配置し夜間見守り、巡視し利用者の発作対処と生活介助に対応した。又、災害避難時の対応を確認するとともに避難訓練を実施した。
- ・災害予防及び災害発生時対応マニュアルで避難経路等の確認をした。
- ・市からの情報伝達を受けてからの避難をマニュアルに沿って確認した。
- ・2/25 避難訓練実施
- ・7/23 1/23 消防用設備、警報装置点検

### 5 (1) 健康、衛生管理、感染症予防

- ・医療機関による健康管理情報の取得
- ・帰所後の手指消毒、手洗い、うがい、マスク着用。朝の検温
- ・毎月、体重、血圧測定 爪切りチェック
- ・通院の付き添い
- ・日常的な心身の健康状態の観察と対応
- ・入浴時の身体衛生の奨励への助言、介護・援助
- ・清潔及び衛生面への日常的な助言、支援
- ・寝具・パジャマ等の衛生管理（敷きマットは隔週洗濯）
- ・食事場所にアクリル板設置（9月まで）、居室の定期換気
- ・コロナ・インフルエンザ予防接種（任意）

(2) 職員の健康管理

- ・年1回の定期健康診断の実施
- ・コロナ・インフルエンザ予防接種（任意）
- ・手指消毒、手洗い、マスク、出勤時の検温

(3) 衛生指導

- ・食中毒（ノロウイルス）感染予防対策として、定期的な調理場所、調理器具の消毒実施。

6 会議・研修等

職員会議（職員全員参加）	5回（4月6月8月10月1月に開催）
保護者・役員会	2回（8月2月に開催）

(1) 施設内研修実施

- ・熱中症対策（6月15日）
- ・障害者虐待防止法（8月24日）
- ・身体拘束について（8月24日）
- ・リスクマネジメント（8月24日）
- ・感染症について（8月24日）
- ・連携、コミュニケーション（1月18日）

(2) 外部研修参加

- ・参加なし

7 虐待の防止の遵守

職員会議で虐待防止に関する資料に基づき学習する機会をもち職員の資質向上と、「虐待はしてはならない」という意識を共有した。

8 職員体制（令和7年3月31日現在）

- 管理者1名（常勤・兼務）
- サービス管理責任者1名（常勤・兼務）
- 生活支援員1名（常勤・兼務）5名（非常勤・兼務）
- 世話人3名（非常勤・専従）5名（非常勤・兼務）

## 9 行事、余暇活動

年月日	内 容
4月	花見
5月	GW連休帰省 花火見学
6月	法人総会
7月	
8月	夏祭り（てんま祭）
9月	親子1泊2日旅行
10月	
11月	
12月	クリスマス会 年末帰省
1月	年始帰省
2月	避難訓練（夜間想定）
3月	

## 10 保護者との連携

- ・日常生活状況、行事、帰省の確認、祝日の過ごし方等の話し合いをもち意見を出し合い、有意義な共同生活が送れるよう努めた。
- ・生活・個別課題について話し合い必要に応じて保護者に協力を求めた。
- ・利用者が日常生活を快適に送るためご家族との連携を図り、ご家族から支援の力添えを得て対応した。